

まごころレター

2026.03.01

第111号

こんにちは！

登別市社会福祉協議会（社協）です。

今年のお彼岸は、3月17日に彼岸入り、20日が春分の日、23日が彼岸明けとなります。

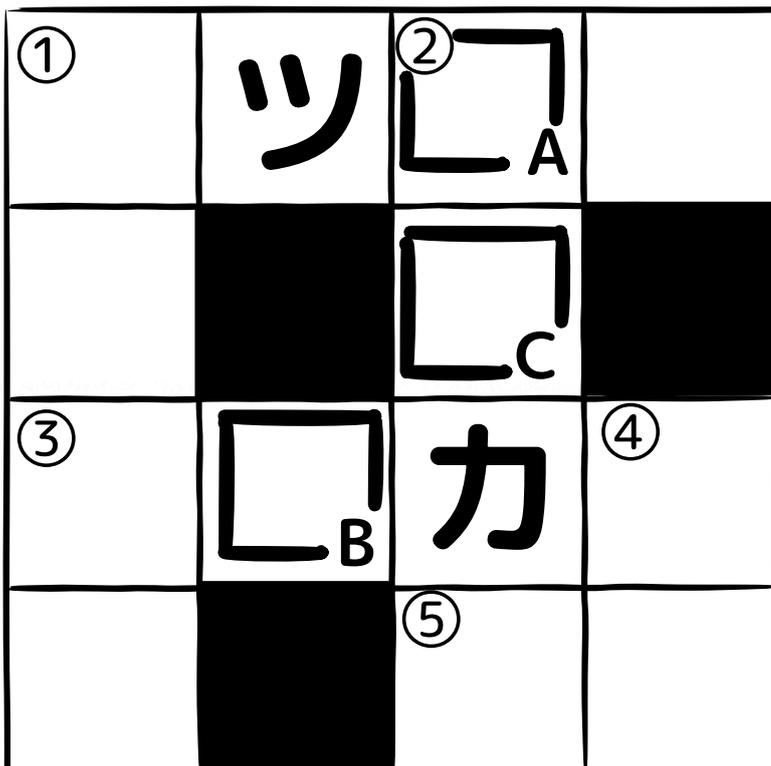
「彼岸」とは、私たちが暮らすこの世（現世）である「此岸（しがん）」の対岸を指す言葉で、いわゆる「あの世」を意味します。お彼岸は年に二回、昼と夜の長さが等しくなり、「あの世とこの世が最も近づく期間」とされています。そのため、家族でお墓参りをしたり、ご先祖様を供養したりする大切な機会となっているようです。



あたまの体操

今回は「クロスワード」です。

タテ・ヨコの鍵を解いて、Aから順にできた単語を答えましょう。（小文字のツ・ヤ・ヨなどは大文字で書きます。）



タテのカギ

①実際にやって体験すること。



②結婚活動

④北海道の木彫りの動物
といえば…



ヨコのカギ

①婚約の次は！

③プランを日本語で

⑤夫の対義語

気温が上がる季節、思わぬ危険に注意 ⚠

今年の冬は、寒い日が続き、積雪も多く、例年よりも厳しい冬だったのではないのでしょうか。そんな中、暦の上では春を迎え、登別にも少しずつ春の足音が聞こえ始めています。春の訪れが待ち遠しい時期ですが、気温が上がり始める3月は、思わぬ危険もたくさん潜んでいます。皆さんでしっかり「春の危険」を確認して、安全に楽しい春を迎えましょう！

軒下には要注意！

気温が上がり、雪が解け始めると「落雪」の危険が高まります。屋根に積もった雪が水分を含んで重くなり、一気に滑り落ちてくることのあるからです。各地で命に関わる重大な事故も報告されています。事前の雪下ろしはもちろん、それが難しい場合も、軒下に長時間留まることは避けるなど、十分に注意して過ごしましょう。

また、朝晩はまだまだ冷え込みが続きます。日中に解けた雪が夜間に凍り、鋭い「氷柱（つらら）」を作ります。先端が尖った氷柱は、日中の緩みで落下してくる危険があるため大変危険です。安全なうちに割っておくか、軒先には近づかないよう心がけましょう。



まだまだ大雪に警戒！

登別では、3月に入ってから湿った雪が積もるほどたくさん降る日が多くあります。この時期の雪は2月までとは比べ物にならないほど水分を含んで重く、雪かきで腰を痛めるリスクや、屋根からの落雪の危険も一段と高まります。こまめに雪かきを行うことや、決して無理をせずご近所に相談するなどして、この厳しい時期を共に乗り越えましょう！

足元にご注意を！

雪が解けると路面はシャーベット状になり、足を取られて非常に歩きにくくなります。また、それが一晩経って凍ると、今度は一転して滑りやすい路面に変化します。先月号でもご紹介した「ペンギン歩き」を今一度心掛け、最後まで安全に冬を乗り越えて、楽しい春を迎えましょう！



答え

A. コ B. イ C. ン

ケ	ツ	コ	ン
イ	■	ン	■
ケ	イ	カ	ク
ン	■	ツ	マ



まごころレターは赤い羽根共同募金の支援を受けて発行しています

